

やまと文化の森だより 企画展のご案内

好評開催中!! (最終日は 15:00 までの展示です)

10月の展示 (10/4 ~ 10/29)

出張ロンド美術館「雨森三郎」展 (10/4 ~ 10/29)

第3回 藤川道博作品展 (SDGs 関連ロングラン展示) (10/4 ~ 11/26)

○第5回「秋の蚤の市」10月21日~22日 出店者募集中

11月の展示 (11/2 ~ 11/26)

○第4回 おたっしゃ作品展 (11/2 ~ 11/26)

同時開催 山都町いきいき学級「菊花展」11/1 ~ 6

11/19 明美 & シスターズダンス 10:00 ~

詩吟 11:00 ~

男成神社少女神楽 13:00 ~

各種ワークショップ開催!【事前予約制】

11/12 竹細工竹人形づくり講座 (10:00 ~ 参加費 300 円)

11/23 こでまりづくり講座 (10:00 ~ 参加費 300 円)

ペットボトルキャップで麦わら帽子飾り (13:00 ~ 参加費 100 円)

11/26 しめ縄づくり講座 (10:00 ~ 参加費 500 円)

○刀剣展示「町指定有形文化財 刀 無銘」(11/1 ~ 11/26)

問合せ 山都町下市 16 番地 ☎ 72-9400 開館時間 9:00 ~ 17:00 入館無料

休館日 毎週月曜日 (月曜日が祝日又は振替休日の場合は次の平日)、年末年始等



山の都地域しごとセンター通信vol.68

山都町農業研修制度 6 期生のご紹介

山都町農業研修制度の 6 期生として、2 名が研修を受けています。

写真上は 4 月から関東より移住され、YASKI FARM にて研修をしている片野祐輔さんと受け入れ農家の鳥越靖基さん (金内)、写真下は 9 月から U ターンし、なかはた農園で研修を受けている中野祥太さん (上寺) と受け入れ農家の中島秋吉さん (白小野) です。二人とも日々たくましく学ばれています!

山都町農業研修制度を通じて、平成 30 年度から昨年度までに 7 名の新規就農者が誕生しています。研修生は町外から移住された方だけでなく、中野さんのように町内在住や出身の方も利用できます。

山の都地域しごとセンターでは、これからも山都町の農業担い手育成のサポートを行っていきます。

問合せ 空き家や移住・定住に関するお問い合わせは、お気軽にどうぞ。

山の都地域しごとセンター ☎ 72-9111 e-mail:yamato.shigotocenter@machi-y.jp



研修生の片野さん、受入農家の鳥越さん



研修生の中野さん、受入農家の中島さん

わたしたちの人権

223

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

人権作文の紹介 (令和四年度)

今月は、蘇陽中学校 三年 (当時) 廣瀬未紘さんの作文をご紹介します。

自らの将来の生き方について

私は、一学期の人権学習で、「わたしの選択」という教材で学びました。「わたしの選択」は、中学三年生のタカコさんが、卒業後の進路選択で、周囲の職業に対しての偏見、高校に対しての決めつけ、女性のあり方に対する偏見の声を痛め、悩みながらも、農業高校への進学の夢を確かなものにしていく姿が示されています。そして、タカコさんが、自分の夢を確かなものにしていく時、タカコさんを励ます友であるハルコさんのことばがありました。それは、「私、部落の出身で、差別に負けないように、今でも学習会で差別や人権について学んでいるんだ。だから部落に生まれたというだけ



で、今まで結婚や就職するときだけでなく多くの人たちが差別されてきたかと思うと、絶対差別を許せないんだ。私も、これから先、就職や結婚の時に差別されるかもしれないと思うと、まだまだ勉強して、差別に負けない力をつけなくちゃって思うんだ。こういうことを思うと、私は人の値打ちを、生まれたところとか、卒業した学校なんかで決められるのは、絶対許せないんだよね!」というものでした。

私には印象に残った部分がたくさありました。特に、「人の値打ちを生まれたところや卒業した学校などで決められるのは許せない」という部分が印象に残り、全くその通りだと思いました。さらに班や全体で考えを交流する中で、タカコさんの父親が「女のお前は、良い高校でも出て、どこか、一、二年勤めたら、良い相手を見つけて結婚するのが一番良いんだ。」と言っている部分がおかしいと思う人もいました。

学習を進めていく中で、タカコさんが自分の意志をつらぬくのを迷った理由や、自分で高校を選択していきには何が必要かについて考えてきました。先生の話を聞いたり、班での意見交流の中で、タカコさんが自分の意志を貫けなかったのは、まわりから何を言われるか分からない、まわりの人の偏見や差別があるからではないかと私は思いました。

そして、ハルコさんの「私は、人の値打ちを、生まれたところとか、卒業した学校なんかで決められるのは、絶対許せない。」の言葉から、本当にその通りだと思いましたし、タカコさんが、もう一度思い直したのは、このハルコさんの言葉が大きかったと思いました。

部落出身を理由とするまちがった見方やとらえ方、そして出身校で人の値打ちを決めるまちがった見方やとらえ方をなくすことができれば、またこうした見方やとらえ方を見抜くことができれば、タカコさんは堂々と自分の意志を表明できたと思います。

私自身、これまでの生活を思い返してみると、私も心の中で勝手な偏見とがありました。例えば、進学する高校を考える時に、校風など、その高校に関する本当かどうかかわからない情報や、うわさを鵜呑みにして、勝手に判断したり、偏差値だけでその高校を判断してたりしました。この学習を通して、人の心には、差別心や偏見があるのではないかと感じました。自分自身、思いもしなかったことで人を傷つけてしまわないようにすることが一番大切ではないかと考えました。

そのほかにも、自分で高校を選択していくためには何が必要かについて考えました。これから、自分の進路について迷ったり、たくさんの人に相談したりすることもあると思います。そして、自分で高校を選択していくためには、自分自身の強い思いや簡単に折れない心が必要だと感じました。そして、誰にも良い高校、悪い高校なんて決められないから、その人が毎日を楽しんで充実した日々を送ることができるようならそれでいいと思います。私もこれから先、高校を決めるにあたって、これまで学習してきた自分らしい生き方を常に意識し、偏見を含んだ言葉やまわりの目に左右されるのではなく、自分の意志をしっかり持って進路決定していきたいと思っています。

自分の人権を守り
他人の人権を守る
責任ある行動を



©2010 熊本県くまモン